

令和5年度 学校評価アンケートの考察

【生徒】

◇行事・生徒会活動

- ③「学校の行事（体育大会・文化祭など）は楽しく、積極的に参加している」97.4%（昨年度と比べ0.7%減）
・全校生徒の9割以上が肯定的に捉えているものの、Aの回答は昨年度よりも5.7%減少した。体育大会の時期を9月に戻したため、暑い中で活動することになった影響だと考える。子どもがより楽しく、積極的に参加できるよう、行事の時期を検討する必要がある。
- ④「生徒会活動は活発で、積極的に参加している」74.4%（9.0%減）
・Aの回答は微増しているものの、Bの回答が大きく減少した。「緊急時における連絡機器の持ち込み」の実施に向けて、全校生徒が参加したという意識にできなかったことが原因だと考える。規則について考える動きの他にも、全校生徒が参画を実感できる取り組みを大切にしたい。

◇授業

- ⑥「授業や行事などの中で、学校以外の人から学ぶ機会がある」87.0%（5.0%増）
- ⑪「授業では問題を追究する学習が多くあり、積極的に取り組んでいる」97.8%（1.7%増）
- ⑨「授業では進んで自分の意見や感想などを発表している」71.4%（2.3%増）
- ⑩「授業では友達の見聞や感想をよく聞くようにしている」94.3%（0.5%増）
- ・⑪から本校が行っている生活教育を基盤とした問題解決的学習過程による単元が、子どもの主体性を育てていることがわかる。⑥は昨年度よりも大きく増加した。コロナ禍が明け、授業や行事で外部のかたの取材や発信をしたいときに、直接会いに行けるようになったためであると考え。オンラインは全国各地でも簡単につながるメリットはあるが、やはり生の声を聞くことが充実感につながる。オンラインは活用しつつ、直接会って話す機会を大事にしたい。
- ・⑨は肯定的な意見が増えているものの、Aの回答が4.2%減少している。逆に⑩はAの回答が1.5%増えている。⑪の回答も合わせると、積極的に問題解決に取り組むものの、自分の考えを発表せずに聞くことに徹する子どもが増えているとわかる。つまり、一部の子どもで授業を展開していることになる。多様な考えを伝え合い、互いに学び合えるような支援を考える必要がある。

◇日常生活

- ⑱「私たちの意見や悩みをよく聞いてくれる先生がいる」87.2%（4.5%増）
- ⑲「先生たちは、明るく活動的である」95.5%（2.4%増）
- ・教員が生徒とのコミュニケーションを大切に、細やかな対応をしてきた成果といえる。今後も子ども自身で考える機会を与えながらも、サポートできる関係を築いていきたい。
- ⑤「学校は進路についての情報をよく知らせてくれる」74.8%（4.5%減）
- ・昨年度から大きく減った。学年集会や学年保護者会だけでなく、STやLTでも進路に関わる情報を積極的に提供していく必要がある。

【保護者】

◇教育方針・指導・環境

- ③「学校は生徒の将来に必要な知識や技能を身につける教育活動を行っている」92.2%（3.5%減）
- ⑥「学校は子どもの心を育てる教育をしている（いじめ、心の不安への対応がなされている）」91.1%（2.5%減）
- ⑩「自分の子どもの友人関係は望ましい状態にある」92.2%（0.8%減）
- ・③⑥は微減したものの多くのかたに肯定的な評価をいただいた。本校の教育方針と、実際の営みが認められていると考える。⑩は微減したものの、Aの回答が26.7%増加している。引き続き、望ましい友人関係を構築していけるよう、困った際は気軽に相談できる関係づくりを心掛けていきたい。

◇保護者との連携

- ⑬「保護者は子どものことで気軽に学校に相談できる」85.4%（4.9%減）
- ・高い数値ではあるものの、前年度に比べ大きく減少した。欠席連絡フォームの導入により、学校へ直接連絡する頻度が減ったことで、敷居が高くなってしまった可能性がある。保護者の負担が減る工夫は今後も必要であるが、代わりに担任に気軽に相談できるような関係を築く必要がある。
- ⑯「本校のPTA活動は積極的に行われている」99.4%（2.2%増）
- ・Aの回答は16.6%増加している。各部会が工夫を凝らして行事を計画し、多くの保護者に参加をしていただいた成果といえる。今年度の経験を生かし、保護者同士のつながりを生むPTA活動を継続していきたい。